

【事業名】

(山梨県南アルプス市)

【団体名】 南アルプス市櫛形山アヤメ保全対策検討会

令和5年度 生物多様性
保全推進支援事業
実績報告書別紙10-6

事業の背景・目的

・実績報告書（別紙10-3）を基に、事業の背景や目的、必要性、地域における生物多様性保全上の課題等を簡潔に記載（300文字以内）

櫛形山のアヤメ群落は、2002年に山梨県自然環境保全条例に基づき自然記念物に指定された。2006年からアヤメ開花期に花がみられなくなったため、市ではアヤメの開花状況の調査を行った。その結果、野生動物、特にニホンジカの食害の影響が主たる原因という結論に至り、大規模にシカよけネットを設置したところ、柵内ではアヤメや他の花についても復活がみられた。しかしながら、柵外ではシカにより草は食い尽くされ、樹木の皮を剥ぐ被害も多く見られるようになり、周囲の原生林にも変化が見られるようになった。このように、シカの樹皮剥ぎは、枯死木を急激に増加させ、樹木の次世代が育たずに森林生態系の衰退をもたらすため、緊急に保全措置を講ずる必要がある。

事業の内容

・実績報告書（別紙10-3）を基に、実施した事業結果の概要を簡潔に記載。事業が複数ある場合や、複数年度にわたる場合には、枠囲みを用いるとわかりやすい。

事業①ア 防鹿柵設置区（1）アヤメ平区における既存防鹿柵の移設事業

- ・移設場所を専門委員と踏査後決定し、既存の柵を移設先へ計画どおり拡張実施。
- ・7月に拡張作業を実施したので、今後は回復状況の評価を実施予定。

事業② イ 防鹿柵設置区（2）大カラマツを含む原生林保全防鹿柵設置事業

- ・設置場所について専門委員と踏査後決定し、資材を購入、ヘリコプターでの荷上げのための資材の梱包作業、現場近くの荷を下ろす場所を確定し、空輸の実施、その後設置工事を完了した。

事業③ 普及啓発事業

- ・柵設置については、櫛形山を愛する会ほか市民ボランティア、）総勢60名での作業となった。
- ・当日の様子を地元CATVで放映、またHPやSNSで当日の様子について発信した。

得られた成果

・実績報告書（別紙10-3）を基に、・事業の成果、活動継続の見通し、事業終了後の展開等を簡潔に記載（400文字以内）

本交付金事業終了後も、当協議会は当面存続する。事業成果として得られた手法や体制、調査結果等を活用しながら、保全活動を継続する。

取組の進捗や成果については、可能な限り公表し、地域住民や企業、学校等への普及啓発も継続するなどし、構築した体制の維持やさらなる強化も試みる。

なお、現行の櫛形山原生林保全計画の計画期間は本事業の成果も踏まえて今後改定・更新を行う見通しとなっている。

